

商務長官、司法長官、通商代表を正式承認

2021年3月18日
JETRO NY 知的財産部
石原、赤澤

バイデン政権における閣僚のうち、知的財産政策に関係する商務長官、司法長官及び通商代表の指名が上院で承認され、これらの3閣僚の就任が正式に決定した。

今後、時期は未定であるが特許商標庁長官、反トラスト局長などの人事に移ることになる。

就任者と承認までの経緯は以下のとおり。

役職	名前	指名日	委員会	本会議
商務長官	Gina Raimondo	2021年 1月7日	商務委員会 1月27日公聴会 2月3日承認	3月2日採決 賛成84票、反対15 票、棄権1票 ¹
司法長官	Merrick Garland	2021年 1月6日	司法委員会 2月22日公聴会 2月23日公聴会 3月1日承認	3月10日採決 賛成70票、反対30 票、棄権0票 ²
通商代表	Katherine Tai	2020年 12月10日	財政委員会 2月25日公聴会 3月3日承認	3月17日採決 賛成98票、反対0 票、棄権2票 ³

各委員会の公聴会において、知的財産関連では、中国による米国の知財窃取を懸念する共和党議員などから質問が出され、各者から以下のような発言があった。

知的財産関連のみではないが、Raimondo氏については、中国に対する姿勢を具体的に示さなかったため、共和党議員の約3分の1が承認に反対票を投じたと言われている。

○Gina Raimondo 商務長官

- ・ 中国の不公正な貿易慣行に対抗するために、同盟国と協力しながら、政府全体で対応する必要がある。

1

https://www.senate.gov/legislative/LIS/roll_call_lists/roll_call_vote_cfm.cfm?congress=117&session=1&vote=00070

2

https://www.senate.gov/legislative/LIS/roll_call_lists/roll_call_vote_cfm.cfm?congress=117&session=1&vote=00114

3

https://www.senate.gov/legislative/LIS/roll_call_lists/roll_call_vote_cfm.cfm?congress=117&session=1&vote=00123

○Merrick Garland 司法長官

- ・ 米国のコンピュータのハッキングや知財窃取に関して、中国が大きな脅威であることは疑いがない。
- ・ 外国機関等によるスパイ活動と闘うため、連邦捜査局（FBI）と連携し、米国の知財や営業秘密を窃取する外国機関等があれば訴追する。

○Katherine Tai 通商代表⁴

- ・ 他国と協力し、中国が知財窃取や強制技術移転を止めるよう圧力をかける。
- ・ 中国との第一段階合意に含まれる構造改革を履行させるため、あらゆる方法で中国に圧力をかける。
- ・ 中国の 301 条違反事例について米国企業から情報収集を行う。

（以上）

⁴ https://www.jetro.go.jp/ext_images/_lpnews/us/2021/20210304.pdf